

事業所名		ハピネス国際放課後等児童デイサービス		支援プログラム		作成日		8 年		1 月		26 日	
法人（事業所）理念				一人ひとりのお気持ちにそっと寄り添い、安心してその人らしく過ごしていけることを目指しています。									
支援方針				・一人ひとりの個性に合わせた支援の提供。・安心して過ごせる生活の提供と、五感を通じてさまざまな体験の提供。 ・ご家族との連携を図り共に児の成長を見守ります。※以上をもとに個別支援計画を作成し、以下の支援プログラムを組み合わせた活動を行っていきます。									
営業時間				月曜日から金曜日：10時00分 ～ 19時00分 学校休業日：9時00分 ～ 18時00分			送迎実施の有無		○あり なし				
				支 援 内 容									
本人支援	健康・生活			健康な心と体を育て、自ら健康な生活で出来るよう支援。生活に必要な基本的な生活スキル、食事、着脱、排泄、身の回りを清潔にすること等の獲得スモールアップで支援する。睡眠、食事、排泄等の基本的な生活リズムの形成、支援。おやつは市販のヨーグルトまたはゼリーやプリンの他に日替わりでスナックパン・煎餅・カップケーキ等を提供。おやつ時と遊びの途中で水分補給を行う。									
	運動・感覚			日常生活に必要な動作の基本の姿勢保持、上肢・下肢の運動・動作の改善・習得。ダンス・一本橋、複数の運動を通じて、運動機能・バランス感覚の向上と共に運動の楽しさを学ぶ。粘土・絵具・色塗り・ハサミ・貼り絵・センサーマットなどの工作や感触遊びを通じて、五感を育み、想像力や思考力を身につけると共に巧緻性の向上に繋げる。									
	認知・行動			視覚、聴覚、触覚等の感覚を活用し、必要な情報を収集して認知機能の発達を促す支援。環境から情報を習得し行動につなげるという一連の認知過程の発達を支援。物の機能や属性、音が変わる様子、大小、空間、時間、数、文字などの概念形成を図り、認知し行動の手掛かりとして活用出来るよう支援。トレーニングを通して、記憶力、読解力、構成力を養う。苦手な事への挑戦等、課題に向く姿勢や力を養う。こだわりや偏食等に対する支援。									
	言語 コミュニケーション			言語の形成と活用が出来るように支援。事物や体験を言葉の意味と結び付け、自発的な発声を促す支援。障害の特性に応じた読み書き能力の向上の支援。受容言語と表出言語の支援。相手の話を理解したり、自分の思いを伝えたりするなど、言語を受容し表出する支援。集団活動での人との関わり通して、共同注意の獲得等を含めたコミュニケーション能力向上の支援。絵カード、身振り、差し指、サイン、ジェスチャー等のコミュニケーション手段を選択、活用し、環境理解と意思の伝達が円滑に出来るよう支援する。									
	人間関係 社会性			人とのつながりを大切に、身近な人との信頼関係を深め、それを基盤として周囲の人々とも安定した関係を築けるよう支援。感覚機能を使った遊びや運動機能を働かせる遊びから、見立て遊びやごっこ遊び等の象徴的な遊びを通して、徐々に社会性の発達を支援する。一人遊びの状態から並行して遊ぶ段階へ進み、大人が関わりながら行う連合的な遊びや、役割分担、ルールを守って遊ぶ協同遊びを通して、社会性の発達をお支援します。自分の得意なことや苦手なこと、できることとできないことなど、自分の行動の特徴を理解するとともに、気持ちや情動をコントロールできるよう支援。									
家族支援				・事業所での支援をご家族と共有することで、よりよい支援に繋げていけるよう心掛けています。 子育てに関する困りごとに対する相談援助。こどもの成長の共感・確認等を行っています。									
地域支援・地域連携				・こどもに関わる地域の関係者／関係機関との連携（保健・医療・福祉・教育） ・相談支援事業所との生活支援や発達支援における連携			職員の質の向上		事業所内での定期研修（支援・障害特性理解）及び法令基準遵守等に係る外部研修の受講を月1回以上を目処とした受講				
主な行事等				調理活動、夏祭り、クリスマス会、お誕生日会、防災訓練、父の日母の日のプレゼント作り等									